

# あかり

題字/森上七口子様

発行所  
社会福祉法人 川岳福祉会  
坂本の里 一灯苑  
〒869-6105  
八代市坂本町坂本1071  
TEL0965-53-7277

第44号  
平成29年1月15日

## 新年あけましておめでとろございます

苑長 光永了男

一灯苑は、今年で十二回目の新年を迎えました。関係各位の皆様には大変御世話になっております。心より感謝申し上げます。

振り返ってみますと昨年は、雪害に伴い水の補給が断たれ、水汲みから新年が始まりました。四月には熊本地震により「ガスパ管の断裂」「水・食事・医療品の確保」で毎日が会議の連続でした。加盟する「21老福連」の施設・遠くは福島県からトラック便が次々と到着、胸を撫で下ろした事を思い出します。現場は「介護・看護職員」不足・職員の確保に奔走した年でもありました。個人的には昨年は一人の子どもの結婚もあり良い年でもあったのですが正直「心身ともに疲れた年」でした。

今年の展望が見いだせない自分に活を入れてくれた「二つの出来事がありました。」

一つは、題名からして何か得られるものがありそうな映画と想っていた、鑑賞に出かけた「海賊とよばれた男」という映画でした。

出光興産創業者の出光佐三氏をモデルとした波乱万丈の人生と出光興産が戦後、アメリカのメジャー産業と戦いながら、自力で大企業まで成長する課程が描かれていました。敗戦後、挫折を繰り返して

ながら従業員と共に、大資本と闘いながら、どんなに苦しいときも一人の従業員も解雇せず、大企業に育て上げる姿。まさに目的に邁進する「海賊のような男のロマン」そのものでした。心を奮い立たされました。

「何事も諦めてはならない」という主人公のメッセージで脳裏に浮かんだのは、私も夢(良い施設を作り上げる事)への挑戦を諦めず続けようという思いでした。

一つ目は、同時期に放送されたNHKの「斉藤由貴」と「北野武」のファミリーストーリーでした。涙なしでは見られませんでしたが。親の苦労が子どもを護り育てる・戦後の家族の原型を垣間見せられました。戦後はすべての家庭が貧しい状況でした。親の苦労を見ながら育った戦後世代は「何がなんでも」という「意地」があったように思えます。私も再びその「意地」を思い出しました。

初心をるべからず 世阿弥(花鑑)

いよいよ人生の締めくくりが訪れようとしています。「夢」を忘れず、良い意味での「意地」を忘れず、この職員たちと一緒に苦楽を共にしながらより良い新年になるように挑戦いたします。今年も益々ご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

### 11/5~11/7 21.老福連 in愛知 第16回職員研究交流集会



熊本地震被災地からの報告



21.老福連支援へのお礼



### 11/25 AED研修



一灯苑 ホームページを  
ご覧下さい!!  
<http://ittouen.jp>



### 敬老会



### 餅つき



10/26~10/28

八代農業高等学校  
インターンシップ  
3日間お疲れ様でした





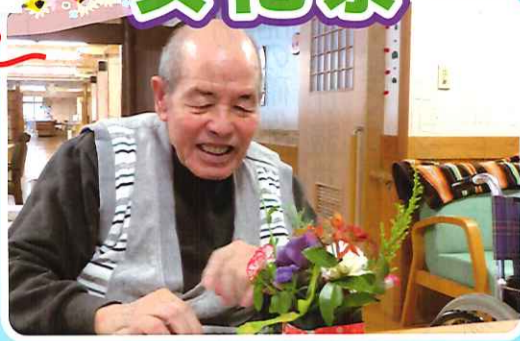
特別養護老人ホームより

運動会



赤も白も、どっちも負けんば〜い!  
さあ、勝負の行方は!?

文化祭



みんなでお花を生けました  
みなさま見事なお手前です

クリスマス会



毎年恒例のファッション  
ショー  
おおいに盛り上げました

あかあか通信

デイサービスより

ケーキ作り

サンタも  
いっぱいならんどるよ!



クリスマス  
忘年会の手品

どうなってるの?



妙見祭



そこのけそこのけお馬が通る  
亀蛇さんも通る



敬老会  
長生きサンバ

喜んでもらってます〜



サンタさんの  
プレゼント

まあ〜うれしかよ〜



坂本ふるさとまつり



なんば、買おうかね

